



立教大学



TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN

立教大学における取り組み事例

— 英語外部資格・検定試験の活用方策 —

立教大学 グローバル教育センター長 松本 茂

平成28年3月25日

英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用促進に関する連絡協議会

1. 導入の目的

①グローバル化の推進

2014年5月に公表した国際化戦略「Rikkyo Global 24」を基盤とした構想が、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型)」に採択、英語資格・検定試験を活用した「グローバル方式」の導入は、本構想の一環として実施。

新たな入試制度の導入により、本学が推進する国際化教育に合致した入学者を選抜し、「自ら考え、行動し、世界と共に生きる」新しいグローバルリーダーを育成していく。

1. 導入の目的

② 高大接続への寄与

現行の高等学校学習指導要領においては、英語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に育成することを目指している。大学入試においても、学習指導要領の趣旨に沿って英語4技能を測定することが求められており、よりスムーズな高大接続に向けた社会的要請に応える。

(平成26年12月プレスリリースより抜粋)

2. 一般入試「グローバル方式」

一般入試「グローバル方式」を
平成28年度入試(平成28年2月実施)に導入

- ◆すべての学部・学科で実施
- ◆一般入試で実施
- ◆英語4技能テストを活用する

TOEFL iBT, IELTS, TOEIC & TOEIC S&W,
GTEC CBT, TEAP, 英検(1級, 準1級のみ)

⇒各試験の実施都市や実施回数、受験料を考慮し、高校生が自分に合った試験を選択できるように、多くの試験を活用

2. 一般入試「グローバル方式」

◆出願資格として、CEFR-B1レベルを求める

TOEFL iBT	IELTS	TOEIC & TOEIC SW	GTEC CBT	TEAP	英検
42	4.0	790	1000	226	準1級

※各試験団体公表値をもとに設定
B1レベルに設定した理由

⇒ 大学における学修で卒業までに
交換留学に対応できるB2レベルまで引き上げが可能

◆大学の試験は英語以外の2教科を受験

◆募集人員は全10学部合計で131名

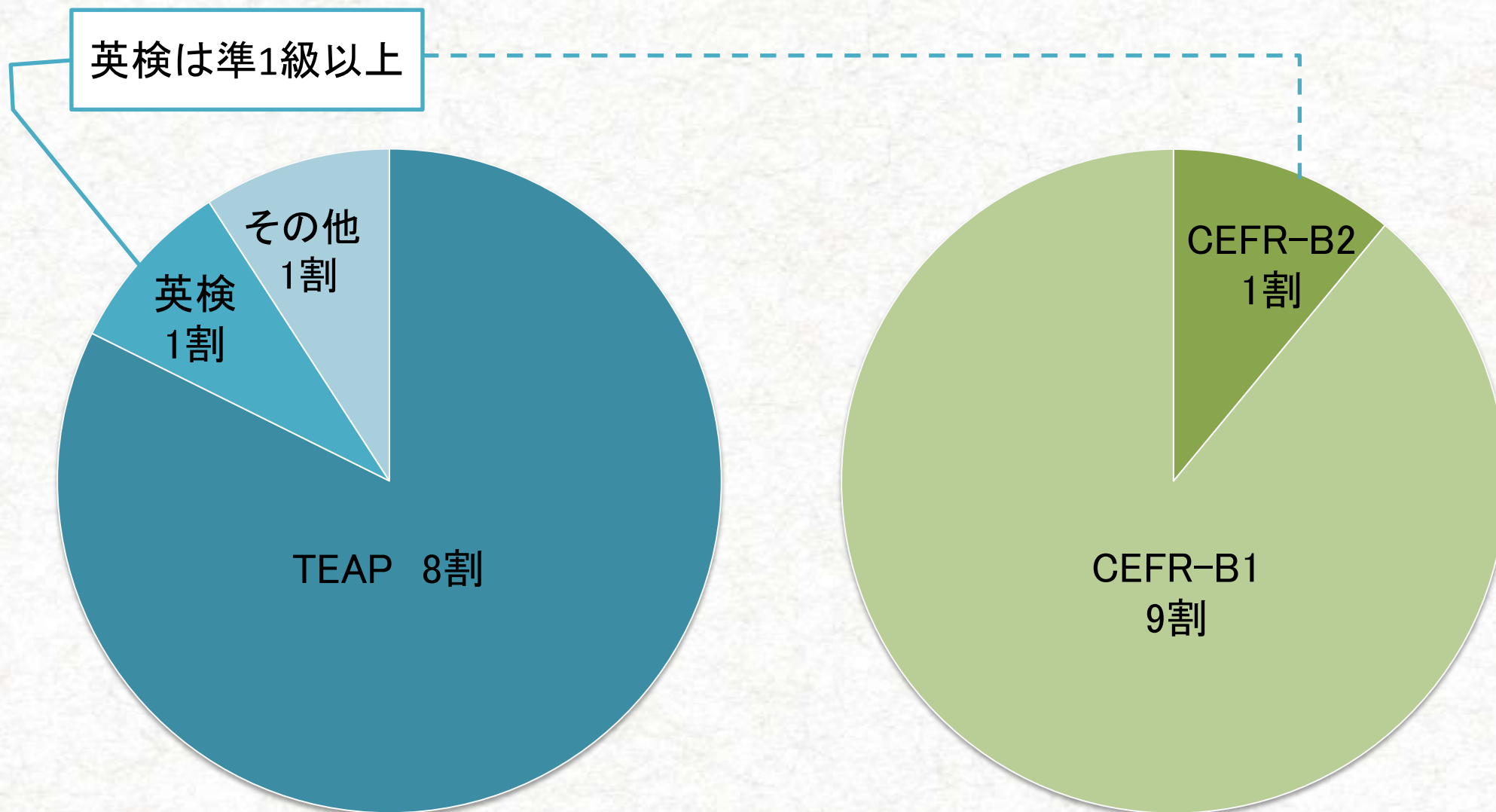
英検2級は今年度まで
は3技能のため不可

2. 一般入試「グローバル方式」

志願倍率は約3倍、実質倍率は約2倍

学部	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数
文	29	57	2.0	37
経済	10	31	3.1	23
理	5	12	2.4	6
社会	15	51	3.4	20
法	12	35	2.9	29
観光	10	30	3.0	10
コミュニティ福祉	9	13	1.4	10
経営	30	80	2.7	34
現代心理	6	15	2.5	11
異文化コミュニケーション	5	50	10.0	11
合計	131	374	2.9	191

2. 一般入試「グローバル方式」



利用テストと志願者のレベル

3. 特別入試での活用

ケンブリッジ英検、TOEFL Junior Comprehensiveも活用

○自由選抜入試(自己推薦型)

○国際コース選抜入試

⇒出願資格として資格・検定試験を活用

○推薦入学(指定校推薦)

⇒推薦要件として資格・検定試験を活用

○外国人留学生入試

⇒スコア提出を求め、総合評価に活用

※特別入試では、志願者が提出する試験に偏りはなく、どの試験も広く活用されている。



立教大学

The founding spirit of Rikkyo University is steeped in Christian values of providing a liberal education that nurtures every aspect of the individual. These values continue to be our guiding principle.